

膵臓がん早期発見推進ワーキンググループ

(令和2年度)

膵臓がん早期発見推進ワーキンググループ報告書

広島県地域保健対策協議会 膵臓がん早期発見推進ワーキンググループ

WG長 古川 善也

I. 調査研究の結果

以下のごとく、膵臓がんの早期発見体制の構築に係る検討を行った。

(1) 各拠点病院における取り組みと課題

膵臓がん早期発見のためには、膵管狭窄（狭窄後拡張）、膵嚢胞、糖尿病悪化例などのリスクファクターのある患者をピックアップし、精密検査ならびにフォローすることとなる。この際、拠点病院で行う確定診断法はほぼ定まっているが、これら症例のピックアップ方法に課題があるとの意見が多く出た。

また、これら症例では比較的長期のフォローが必要となる。このフォローは、MRCP、EUS、CT、USなどの検査を組み合わせで行うこととなるが、多くの拠点病院では、これら検査のキャパシティーが限界に近い状態となっている。このため、フォロー症例が今以上に多くなると、オーバーフローするので

はないかとの意見が大半であった。

(2) 膵臓がん早期発見推進のために必要な対策

ピックアップ方法としては、US、MRCP、HbA1c等の重要性が指摘された。このピックアップには開業医の先生方や健診センターなどとの連携が重要であるが、多くの地域では連携が不十分と考えられた。

また、前述のごとく、フォローを拠点病院のみで行うとオーバーフローすることが推測され、フォローには地域の先生方との共同作業が必要との意見で一致した。

(3) 今後のWGの進め方について

①開業医の先生方や検診施設ならびに患者さんへの啓蒙活動。②開業医の先生方や健診センターから拠点病院に紹介するフロー図の作成。③拠点病院と診療所で共同してフォローしていく体制の構築。以上の3点を中心に、次回より具体的に検討することとなった。

広島県地域保健対策協議会 膵臓がん早期発見推進ワーキンググループ

WG長	古川 善也	広島赤十字・原爆病院
委員	齋 宏	市立三次中央病院
	植木 亨	福山市民病院
	岡崎 彰仁	広島赤十字・原爆病院
	小川 恒由	福山市民病院
	久保 康之	広島県健康福祉局
	佐々木民人	県立広島病院
	芹川 正浩	広島大学病院消化器・代謝内科
	花田 敬士	JA尾道総合病院
	濱井千年世	広島市健康福祉局保健部
	平尾 謙	広島市立広島市民病院
	藤川 光一	広島県医師会
	藤本 佳史	JA広島総合病院
	南 智之	東広島医療センター
	三宅 規之	広島県医師会
	山口 厚	呉医療センター
	吉原 正治	広島大学保健管理センター